情報処理学会東北支部だより
第１８８号

発行責任者 阿曽 弘具 (支部長)
事務局　　瀧本 英二 (庶務幹事)

〒 980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 05
東北大学大学院情報科学研究科
Tel: 022-217-7148
Fax: 022-263-9414
e-mail: t2@ecei.tohoku.ac.jp

1　情報処理学会東北支部記事

1.1　東北支部協賛「東北大学電気・情報系 21 世紀企画プレシンポジウム」の御案内 (記事通番 00-07)

東北大学電気・情報系 **21** 世紀企画プレシンポジウム
個性の輝くコミュニケーション
――**21** 世紀への夢――

東北大学電気・情報系は，八木・宇田アンテナや光通信の発祥の地としての輝かしい歴史を刻んできており，電気通信の研究のパイオニアとして多くの学術的成果を世に送り出してきております．このたび２１世紀におけるコミュニケーションの夢を語るために，産業界，官界，学界，文系，ならびに東北大学電気・情報系の代表的な方々からプレゼンテーションをいただき，２１世紀の個性輝くコミュニケーションについて見識を深めるとともに，高校生，大学生，大学院生等から２１世紀への情報通信への提言の懸賞論文等を企画しました．どうぞ多数ご参集，ご応募下さいますようお願い致します．

主催：東北大学電気・情報系
共催：財団法人電気通信振興会
協賛：電気学会東北支部
電子情報通信学会東北支部
情報処理学会東北支部
映像情報メディア学会東北支部
みやぎ工業会

- シンポジウム：2000 年 10 月 28 日 (土)13:00 ~ 17:05
  東北学院大学 90 周年記念館 (〒 980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目 3-1)
  13:00-13:05　はじめに　沢田康次 (東北大学電気通信研究所 所長)
  13:05-13:40　懸賞論文等表彰 (坪内和夫プレシンポ WG 委員長，山口正洋審査委員長)
  13:40-13:55　休憩
  13:55-14:30　大星公二 (株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 代表取締役会長)

14:30-15:05　沢田康次（東北大学電気通信研究所 所長）
15:05-15:40　西山賢一（埼玉大学経済学部 教授）
15:40-15:55　休憩
15:55-16:30　相磯秀夫（東京工科大学 学長）
16:30-17:05　田中征治（郵政省技術総括審議官）

シンポジウムに参加希望の方は，当日会場へ直接お越しください．事前予約は不要です．参加費は無料です．

- パーティ：同日，18:00 ~ 19:30　仙台ホテル（ご参加頂く方は，実行委員会よりご案内状をお送りする方に限らせていただきます .)

- 懸賞論文等募集：

テーマ:「個性の輝くコミュニケーション− 21 世紀の夢を語れ」
　　− 君の未来を語って下さい−

応募資格：
・大学院生の部：仙台市近郊の大学院で学ぶ大学院生（博士課程，修士課程とも）
・学部生等の部：　〃　大学学部生・高専・専門学校生
・高校生等の部：　〃　高校生・予備校生・大学浪人

応募方法：
1．論文・イラスト
2．氏名，年齢，所属，学年，連絡先（住所，電話，あれば e-mail と FAX）を記した別紙（書式自由）

募集締切：募集は終了しました．

表彰等：
・入賞者には，10 月 28 日 (土) のプレシンポで賞状と副賞 (賞金) の授与を行います．
・入賞論文は，2001 年 5 月発行予定のプロシーディングス「東北大学電気・情報系 21 世紀企画プレシンポジウム 個性の輝くコミュニケーション —21 世紀への夢—」に掲載します．
・各枠の最優秀賞各 1 名はプレシンポで自分の夢を発表していただきます．
・副賞は下記の通りです．
　・大学院生の部：最優秀賞 15 万円，優秀賞 10 万円，準優秀賞 5 万円．各 1 件．
　・学部生等の部：最優秀賞 7 万円，優秀賞 5 万円，準優秀賞 3 万円．各 1 件．
　・高校生等の部：最優秀賞 5 万円，優秀賞 3 万円．各 1 件．

- 問合先等：

会場所在地や懸賞論文提出方法等に関する事務的事項の問合先：
〒 980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1
東北大学電気通信研究所内「21 世紀企画プレシンポジウム係」
e-mail:shomu@jm.riec.tohoku.ac.jp
Tel:022-217-5420
※ 懸賞論文等の応募は，郵送または持参のみ受付けます．Fax や e-mail など，その他の応募方法では受理しません．

その他全般的問合先：
東北大学電気通信研究所　山口正洋助教授

〒 980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1
e-mail:yamaguti@riec.tohoku.ac.jp
Tel:022-217-5488
Fax:022-217-5489
ホームページ http://www.riec.tohoku.ac.jp/pre21/に詳しい最新情報を掲載しています．会場地図や，質問や意見などを自由に交換するための掲示板も用意しました．

2 研究会のご案内

2.1 研究会（平成１２年度第１回）開催案内 (記事通番 00-08)

- 日時：平成１２年１２月２日 (土)
- 会場：岩手大学工学部一祐会館大会議室
  （〒 020-8551　盛岡市上田４-３-５）
- 発表申込締め切り：平成１２年１１月１７日（金）
- 発表申込先：
  〒 020-8551　盛岡市上田４-３-５
  岩手大学工学部情報システム工学科
  村岡 一信
  e-mail: muraoka@cis.iwate-u.ac.jp
  Tel: 019-621-6484
  Fax: 019-624-4078
  （できるだけ E-mail でお願いします）
- 備考：
  発表ご希望の方は，講演申込期日（11 月 17 日）までに，発表題目，登壇者名（頭に○ 印）と連名者名，連絡先，発表用機材（ＯＨＰ，プロジェクタ，ビデオ等）を明記の上，お申し込み下さい．なお，終了後，懇親会を予定しておりますので, 申込の折に懇親会参加の有無もお知らせ下さい．

2.2 研究会（平成１２年度第２回）開催案内 (記事通番 00-09)

- 日時：平成１２年１２月１２日（火）１０：３０~
- 会場：秋田大学工学資源学部情報工学科１階１０１講義室
  （〒 010-8502　秋田市手形学園町１－ １）
- 発表申込締め切り：平成１２年１１月３０日（木）
- 発表申込先：
  〒 010-8502　秋田市手形学園町１－ １
  秋田大学工学資源学部情報工学科
  石沢 千佳子

e-mail: ishizawa@ie.akita-u.ac.jp
Tel: 018-889-2473
Fax: 018-837-5771
（できるだけ E-mail でお願いします）

- 備考：
  発表時間は，質疑を含めて 30 分程度とします（申込件数によって若干の変動があります）．
  発表者は，発表論文資料 40 部を当日持参してください．
  研究会終了後，懇親会を予定しておりますので，是非こちらにもご参加をお願いいたします．

3 研究講演会のご案内

3.1 第２８２回研究講演会開催報告 (記事通番 00-10)

演題：「ゲノム情報科学の新展開とバイオインフォマティクス教育」

- 講演者：高木利久（東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター教授）
- 日時：平成１２年７月３１日（月）１５：３０～１７：００
- 場所：弘前大学５０周年記念会館会議室
- 講演要旨：ヒトゲノムの塩基配列がすべて決定されるという歴史的瞬間を目前にして，ゲノム情報科学の重要性がますます高まりつつある．もともとゲノム情報科学は，ゲノム計画から産み出される膨大なデータを効率よく処理するためのデータベースや解析ツールを開発することを目的として生まれた研究分野であるが，将来の生命科学の中核を担う存在として大きな期待が寄せられるまでに発展してきた．このような状況のもとで今年の４月からスタートした文部省の「ゲノム情報科学」プロジェクトの目的や内容が詳しく紹介された．また一方で，この分野の人材不足が大きな問題となりつつあり，人材不足解消に向けたバイオインフォマティクス教育の在り方についても議論された．
- 参加者：３４名
- 報告者：清水 俊夫
  弘前大学理工学部電子情報システム工学科
  〒 036-8561
  弘前市文京町３
  Tel: 0172-39-3638
  Fax: 0172-39-3638
  e-mail: slsimi@si.hirosaki-u.ac.jp

3.2 第２８３回研究講演会開催報告 (記事通番 00-11)

- 日時：平成１２年８月２１日（月）１５：００～１７：２０
- 場所：東北大学工学部電気情報館３階 ３５１・３５３会議室

演題１ :「Minds, Brains and Computer Science」

- 講演者：Jiri Wiedermann (Academy of Science of the Czech Republic)
- 講演要旨：動物や人間の心の活動をアルゴリズム論的に理解することは，コンピュータサイエンスに与えられた最大の課題であろう．最近，L. Valiant によって提案された，ニューロイダルネットと呼ばれる認知科学のための新しい計算論的パラダイムは，コンピュータサイエンスにおける認知情報処理システムの研究の１つの枠組みを与えている．こうしたパラダイムは，また，さまざまな興味深い問題を我々に提起している．本講演では，記憶，認識，自我，感情など，一般に認知システムに関わるさまざまな問題や疑問を計算論的に議論するための形式化が試みられ，脳や心の計算モデルのあり方について，コンピュータサイエンスの視点から意見が述べられた．

演題２ :「Replacement Systems and Their Modelling by Polynomial Ideals」

- 講演者：Ernst W. Mayr (Technische Universitat Munchen)
- 講演要旨 : 有理数や GF(2) などの体の要素を係数として持つ多項式環は，モデリング，シミュレーション，幾何概念の表現，ダイナミックシステムなど，さまざまな問題を代数的に分析するための道具として使われている．本講演では，多項式のシステムがその共通零点の集合として表される代数多様体を定義すること，及び，数学やコンピュータサイエンスにおけるさまざまな問題が，その多様体上の多項式イデアルとしてモデル化できることが，平易な言葉で解説された．特に，並列処理計算のモデルの１つであるペトリネットが取り上げられ，ペトリネットにおける到達可能性問題が，与えられた多項式がある多項式イデアルに含まれるかどうかを決定する問題に還元できること，そして，その計算の複雑さが指数領域完全 (EXPSPACE-complete) となるという講演者自身の有名な結果が紹介された．
- 参加者：３１名
- 報告者：瀧本 英二
  東北大学大学院情報科学研究科
  〒 980-8579
  仙台市青葉区荒巻字青葉 05
  Tel: 022-217-7148
  Fax: 022-263-9414
  e-mail: t2@ecei.tohoku.ac.jp

4 東北支部カレンダー

- 支部だより発行予定
  １８９号 (２０００年１２月末日発行予定)
  １９０号 (２００１年 ３月末日発行予定)